

プログラム番号 2903E

若手職員に知ってもらいたい『報・連・相』のコツ  
—もっと良くなる職場内コミュニケーション—

■講師

宮内 卓也（高知大学 法人企画課法人企画係 係長）

平成 15 年 4 月高知大学採用。総務系・知的財産・研究推進担当等を経て、平成 24 年から現職。高知大学 38 年ぶりの新学部（地域協働学部）をはじめとした 4 学部・1 専攻の設置・改組等の業務などを担当。

井村 公一（高知工科大学 学生支援部学生支援課 課長代理）

平成 19 年 10 月高知工科大学採用。財務部・監査室・学生支援部就職支援課を経て、平成 26 年から現職。主に、学生の経済的支援や課外活動支援、地域交流に関する業務を担当。

大塚 陽介（愛媛大学 基金室基金チーム チームリーダー）

平成 14 年 10 月愛媛大学採用。学務系・総務系・人事系の職歴を経て現職。平成 28 年度に設立された「愛媛大学基金」の初代担当チームリーダーとして、営業活動（企業訪問）の日々。

※3名とも、大学等の経営を担うために必要な知識・技能・態度を身につけるためにSPODが実施した「次世代リーダー養成ゼミナール」の第3期（平成24～25年度実施）修了生です。上記プログラム修了後は、これまでSPODで実施された数々のSD研修で講師を務めています。

■プログラム概要

「ホウレンソウ」という言葉をご存じですか。

これは報告・連絡・相談の略称で、基本的な事柄ですが、業務を円滑に進める上でとても大切なものです。しかし、適切な「報・連・相」が行われなかったことにより、業務に支障をきたしている例が多く見受けられます。例えば、連絡・報告をしたのに、「相手にうまく伝わっていなかった」「上手く相談に乗ってもらえない」といったことはないでしょうか。

このプログラムは、主に若手職員対象に「報・連・相」のコツを理解し活用することで、コミュニケーションに関する課題を解決する方策を立てることを目的としています。

職場における円滑なコミュニケーションのために小さな一歩を踏み出してみませんか。

なお、このプログラムは、「SPODフォーラム2013」において次世代リーダー養成ゼミナール第3期生が実施したプログラムをベースにしています。

■主な受講対象

30歳未満の若手職員

■本プログラムの到達目標

1. 効果的な報告・連絡・相談の方法を説明することができる。
2. 効果的な報連相を使って、コミュニケーションに関する課題を解決する方策をたてることができる。

■日時・場所

日時：平成30年8月29日（水）15：30～17：30

場所：香川大学幸町北キャンパス